

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【公表番号】特表 2003-506378 (P2003-506378A)

【公表日】平成 15 年 2 月 18 日 (2003.2.18)

【出願番号】特願 2001-514342 (P2001-514342)

【国際特許分類】

C 0 7 D 491/22 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 31/4745 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 491/22

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 5 日 (2011.2.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

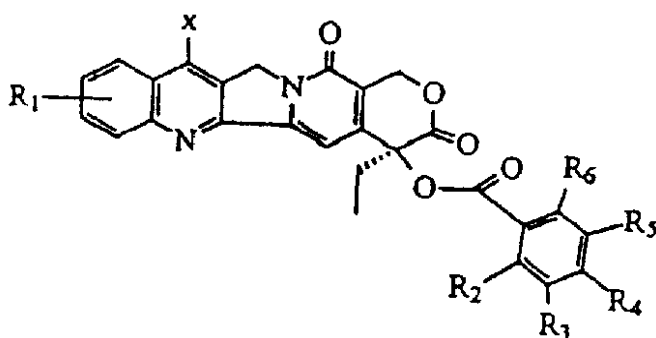
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】次式：

【化 1】



(式中、 $R^1$  は H、 $NO_2$ 、 $NH_2$ 、 $N_3$ 、ハロゲン、カルボキシ基、 $C_{1-16}$  アルキル基、 $C_{1-16}$  アルケニル基、 $C_{3-8}$  シクロアルキル基、 $C_{1-8}$  アルコキシ基、アロキシ基、 $CN$ 、 $SO_3H$ 、 $C_{1-8}$  ハロゲン化アルキル基、 $(CH_2)_n N(R^7)_2$ 、ヒドロキシ基、 $SH$ 、 $SR^8$ 、カルボニル基、 $Si(R^{10})_3$  である。；ここで、 $R^1$  基はそれぞれ、9、10、11 または 12 位に位置し； $R^7$  は H または  $C_{1-8}$  アルキル基であり； $n$  は 1 ~ 8 の整数であり； $R^8$  は  $C_{1-8}$  アルキル基またはフェニル基であり； $R^{10}$  は  $C_{1-4}$  アルキル基であり； $X$  は H、 $C_{1-8}$  アルキル基、 $C_{1-8}$  アルケニル基、 $C_{1-8}$  アルコキシ基、アロキシ基、 $Si(R^{11})_3$  基、または  $CH_2NZY$  である。；かつ、式中、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、および  $R^6$  は独立して、H、 $C_{1-12}$  アルキル基、 $C_{1-12}$  アルケニル基、 $COOH$ 、 $SO_3H$ 、 $CN$ 、 $CF_3$ 、

$\text{CCl}_3$ 、 $\text{CH}_2\text{F}$ 、 $\text{CH}_2\text{Cl}$ 、 $\text{CHF}_2$ 、 $\text{CHCl}_2$ 、 $\text{OH}$ 、 $\text{OR}^{12}$ 、 $\text{N}_3$ 、 $\text{NO}_2$ 、 $\text{N}(\text{R}^{13})_2$ 、カルボニル基、ハロゲンである。ここで $\text{R}^{11}$ は $\text{C}_{1-4}$ アルキル基であり； $\text{Z}$ および $\text{Y}$ は独立して、 $\text{H}$ 、 $\text{C}_{1-4}$ アルキル基、または $\text{C}_{1-4}$ ハロゲン化アルキル基であり； $\text{R}^{12}$ は $\text{C}_{1-8}$ アルキル基、 $\text{C}_{1-8}$ アルケニル基、または芳香族基であり；かつ、ここで、 $\text{R}^{13}$ は $\text{H}$ または $\text{C}_{1-4}$ アルキル基である。)を有する芳香族カンプトセシンエステルであって、ここで、 $\text{R}^2$ 、 $\text{R}^3$ 、 $\text{R}^4$ 、 $\text{R}^5$ 、 $\text{R}^6$ のうち少なくとも一つは $\text{H}$ でないことを特徴とする芳香族カンプトセシンエステル。

【請求項2】 前記 $\text{R}^1$ は水素であり、かつ、 $\text{X}$ は水素である、請求項1記載の芳香族カンプトセシンエステル。

【請求項3】 前記 $\text{R}^1$ は $9-\text{NO}_2$ であり、かつ、 $\text{X}$ は $\text{H}$ である、請求項1記載の芳香族カンプトセシンエステル。

【請求項4】 前記 $\text{R}^1$ は $9-\text{NH}_2$ であり、 $\text{X}$ は $\text{H}$ である、請求項1記載の芳香族カンプトセシンエステル。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

【発明の実施の態様】

本発明は新規なカンプトセシン誘導体に関する。これらのカンプトセシン誘導体は、好ましくは水不溶性芳香族カンプトセシンエステルである。この芳香族カンプトセシンエステルは、好ましくは次式(I)を有する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

エステルの活性はその側部芳香族環の置換基に関連していることである。その側部芳香族環にニトロ基を有するエステルは、他のものよりもより活性である。 $\text{CZ176}$ および $\text{CZ222}$ などのその側部芳香族環にいかなる置換基も有しないエステルは、いかなる活性も示さない。すなわち、本発明のエステル間の活性相違は、その側部芳香族環の異なった置換基による。